39 01 04 01 07 007

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和03年01月19日（火）

事務事業	自然保護事業	担当課	環境課	担当係	環境保全係	管理番号	3902
第2次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政計画分野別施策名 大項目	200004 安心とやすらぎを感じられるまち（暮らし・環境）	根拠法令個別計画等	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律、特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律、埼玉県アライグマ防除実施計画				
中項目	200003 人と自然にやさしいまちづくり						
小項目	200001 自然・生活環境の保全						

事業概要	本事業は、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律に基づく有害鳥獣の捕獲許可事務、特定外来生物法により埼玉県が環境省から確認を受けた埼玉県アライグマ防除実施計画に基づくアライグマの防除及び河川浄化美化活動の支援を行う事業である。
目的 ※何のために	生態系の保護及び自然環境の保全を図るため。
対象 ※誰・何を対象に	アライグマ等により被害を受けている市民、河川浄化美化活動を行う団体
手段 ※どのように	法令に基づく許可（有害鳥獣捕獲許可）、箱わな設置によるアライグマ捕獲及び河川浄化美化活動への奨励金の交付を行う。
成果 ※何を求めるか	野生鳥獣の適正管理、アライグマの防除及び河川の浄化と美化を図る。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ 民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	04	衛生費	01	保健衛生費	07	公害対策費	河川環境対策事業	617,000
一般会計	04	衛生費	01	保健衛生費	07	公害対策費	自然保護事業	282,070
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

・ 有害鳥獣の捕獲等許可事務	・
・ 鳥獣の飼養登録等の事務	・
・ アライグマの防除	・
・ 河川浄化美化活動の支援	・
・ クビアカツヤカミキリの防除	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画							
事業費	予算（現額）	942,000	945,000	1,096,000	1,673,000	1,673,000	
	決算額	757,766	728,398	899,070	0	0	
財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	130,766	113,398	282,070	873,000	1,134,000	
	地方債	0	0	0	0	0	
	他特定財源	0	0	0	0	0	
	一般財源	627,000	615,000	617,000	800,000	539,000	
人件費	従事職員数（人）	2.74	2.72	2.28	2.72	2.72	
	人件費相当試算 ※1	21,314,460	21,167,040	18,479,400	22,162,560	22,162,560	
		0	0	0	0	0	
（総事業費試算）		22,072,226	21,895,438	19,378,470	23,835,560	23,835,560	

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
□	活動指標１	アライグマ被害相談件数	目標値	件							■
			実績値		638.00	589.00	674.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		被害の発生件数は予測できないため、目標値設定はできない。							
		アライグマ台帳の相談件数									
□	活動指標２	河川浄化活動年間回数（申請した団体の合計活動回数）	目標値	回							■
			実績値		23.00	24.00	25.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		各団体が自主的に実施するため、市で目標設定できない。							
		実績報告書の活動回数									
■	活動指標３	河川浄化活動参加者数	目標値	人							■
			実績値		837.00	999.00	1,022.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		各団体が自主的に実施するため、市で目標設定できない。							
		実績報告書の参加者数									
■	成果指標１	アライグマ捕獲頭数	目標値	頭							■
			実績値		360.00	319.00	410.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		アライグマの頭数は予測できないため、目標値設定はできない。							
		アライグマ台帳の捕獲数									
■	成果指標２	河川の平均ＢＯＤ値	目標値		3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	□
			実績値		2.30	3.90	3.10	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		環境基準の３未満を維持する。単位：ｍｇ／Ｌ							
		環境基準適用河川での平均値									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　－：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 河川美化浄化団体が、年間を通じて清掃、美化、啓発等を実施しており、多くの市民が参加している。 アライグマは相談に応じて箱罠の設置を行い、適切な防除を行っている。
成果 （意図した成果が上がっているか）	C	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 アライグマの捕獲頭数は生息頭数の増加に伴って増加していると思われる。 環境基準適用河川でのＢＯＤの値は、福川で渇水期の３月の測定で高めの値が出たため、目標達成に至らなかった。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	環境保全係長　佐藤　秀和

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	ＢＯＤの改善策として、排水の指導権限を持つ県と連携して、水質汚濁防止法の特定施設や生活環境保全条例の指定排水施設を持つ工場、事業場を中心として排水の改善を図っていく。
達成状況 及び その効果	令和元年度より、埼玉県北部環境管理事務所が水質汚濁防止法及び埼玉県生活環境保全条例に基づき、市内の野菜カット工場、漬物工場等への指導を強化しているため、指導に協力し、推移を見ていく。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	自然保護事業	担当課	環境課	担当係	環境保全係	管理番号	3902

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

□ 委託化等の検討
□ 成果向上のための改善
□ 効率化のための改善
□ 事業規模の縮小
□ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

鳥獣に関しては、法令及び埼玉県の計画に基づく事務であることから、現状のまま継続するものとする。
河川美化浄化活動に関しては、現状の支援を継続していく。
ＢＯＤに関しては、排水の指導権限を持つ県と連携して改善していく。

評価者	環境課長　前野　武一

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

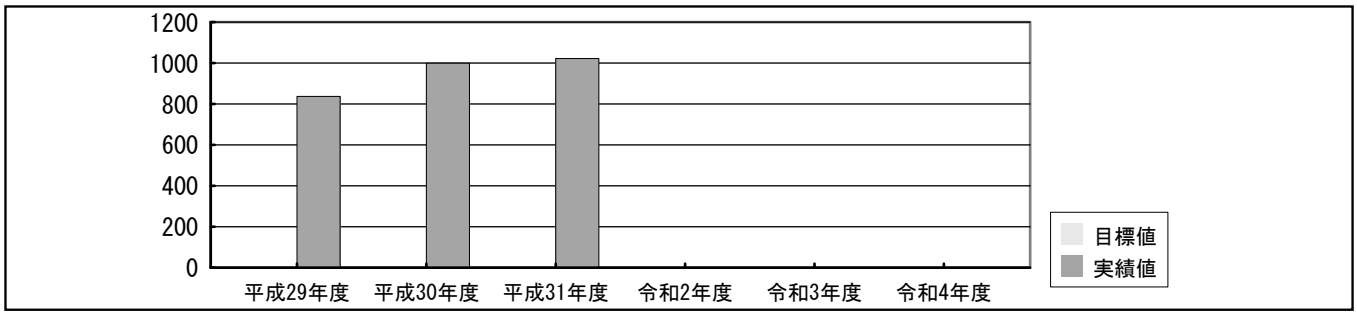
改善・改革案	

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

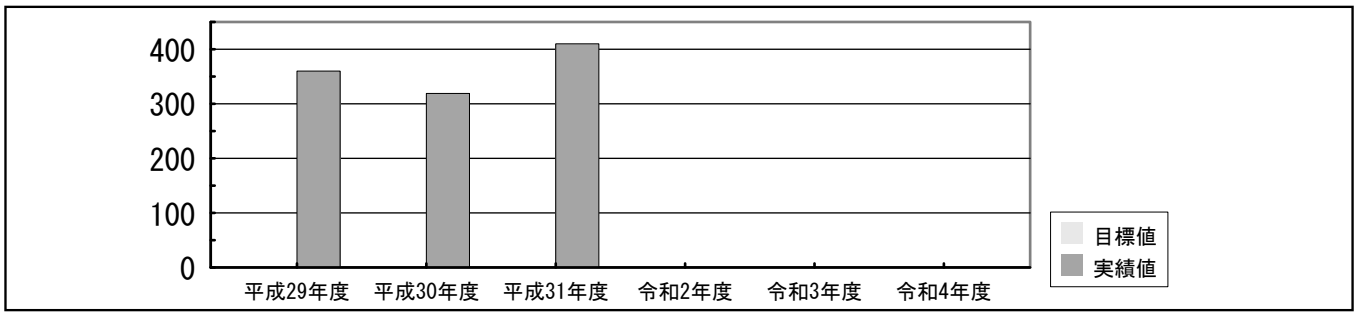
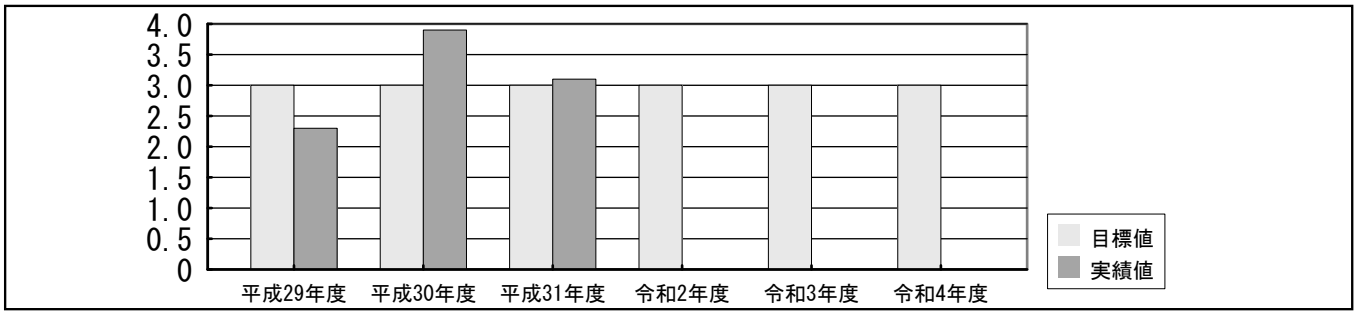
今後の課題	アライグマ捕獲数は昨年から減少が見られたが、根絶を目指して引き続き捕獲圧を強化していく。 特定外来生物のクビアカツヤカミキリについて、市内での被害が増加していることから適切に対応していく。 河川浄化美化活動は、インセンティブとしての奨励金や支援の内容などを検討していく。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標３	指標名	河川浄化活動参加者数



区分	成果指標１	指標名	アライグマ捕獲頭数



区分	成果指標２	指標名	河川の平均ＢＯＤ値